

# ホソハンミョウ

*Cicindela gracilis* Pallas

## コウチュウ目ハンミョウ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 準絶滅危惧

### 選定理由

分布が全国的に局地的で、県内における生息地は1箇所だけであり、個体数も少ない。開発や昆虫マニアによる採集圧により、絶滅の可能性が高い。

### 形態

体長は11mm程度で、体表には金属光沢を持ち、複眼は突出している。脚は細長い。

### 国内分布

本州、四国、九州に分布する。

### 県内分布

金沢市内の1箇所に生息しているのみであり、しかも個体数は少ない。

### 生態

成虫は7～8月に見られ、林縁の草地や芝生の上を敏速に走り回っている。他のハンミョウ類と同様、幼虫期には地中に穴を掘って生活しているものと思われるが、詳細な生態は不明である。

### 生息地の条件

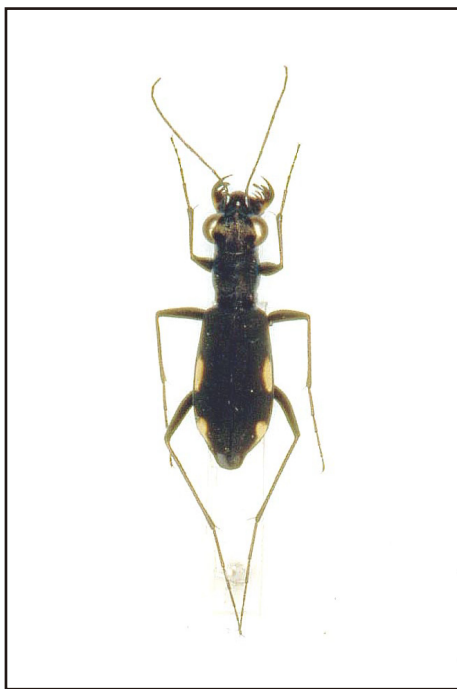
林縁に位置し、裸地が多く、草がまばらに生えた草地に生息する。

### 生存の危機

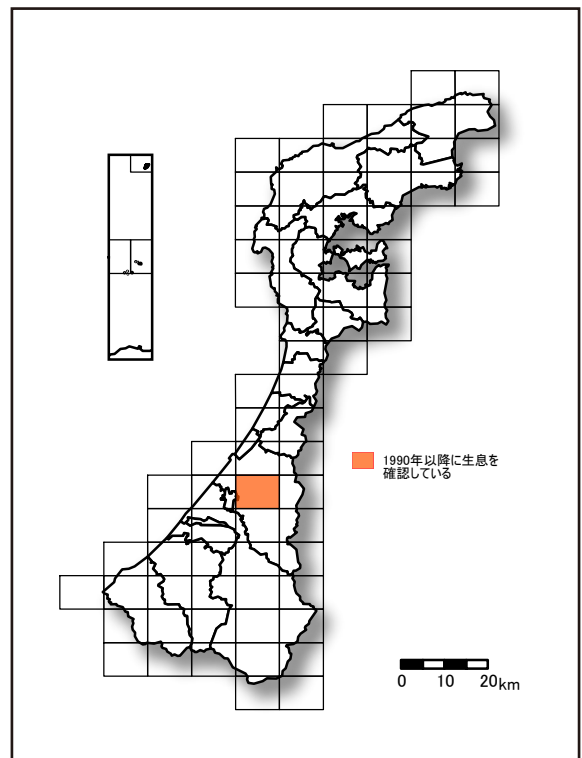
植生の遷移により草のまばらな草地がなくなると生息に適さなくなることから、植生の貧弱な草地を維持することが重要である。(A)

### 参考文献

中根猛彦 1973. 日本の甲虫(2). 昆虫と自然, 8(10): 5-7.



標本提供者: 井村正行



県内の分布